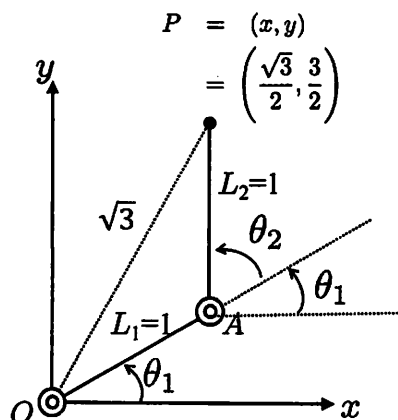


数値例

$$L_1 = L_2 = 1, x = \frac{\sqrt{3}}{2}, y = \frac{3}{2} \text{ のとき, } \sqrt{x^2 + y^2} = \sqrt{\frac{3}{4} + \frac{9}{4}} = \sqrt{3}$$



前項までの結果から,

$$\theta_1 = \cos^{-1}\left(\frac{1}{2}\right) - \cos^{-1}\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)$$

$$= \frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{6} = \frac{\pi}{6}$$

$$\theta_2 = \pi - \cos^{-1}\left(-\frac{1}{2}\right)$$

$$= \pi - \frac{2}{3}\pi = \frac{\pi}{3}$$

複数解の存在

$$L_1 = L_2 = 1, x = \frac{\sqrt{3}}{2}, y = \frac{3}{2}$$

このとき,

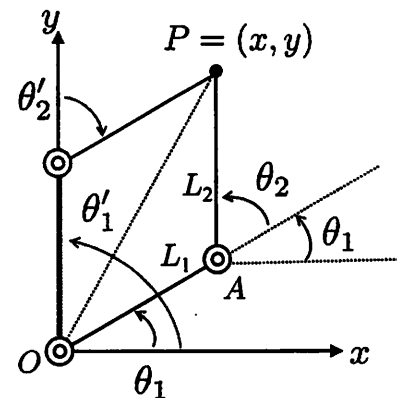
$$\theta_1 = \frac{\pi}{6}, \theta_2 = \frac{\pi}{3}$$

の他に

$$\theta'_1 = \frac{\pi}{2}, \theta'_2 = -\frac{\pi}{3}$$

も解である。

解に(0以上などの)条件をつけることで、絞り込める

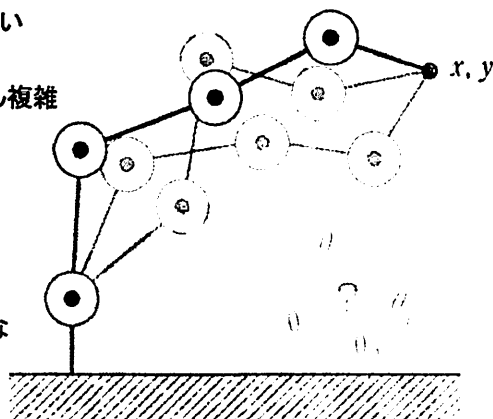


さらに複雑な場合は

- 順運動学計算
 - 自由度が増えても対応しやすい
- 逆運動学計算
 - 自由度が多い場合はどんどん複雑になる
 - 解が一意に決まらない



- ロボットの構造によらない方法はないか?



図出典: 木野・谷口, イラストで学ぶロボット工学

(復習)偏微分

- 多変数関数を, ある1変数に関して微分することを偏微分という
- 注目する変数以外は定数として, (従来の)微分の操作をすれば良い
- 注目する変数方向の変化率を表している
- 例として, 以下のような x と y の2つの変数から値が決まる関数 f を考える

$$f(x, y) = x^2 + xy + y^3$$
 - 関数 f の x による偏微分
 - 関数 f の y による偏微分

$$\frac{\partial f}{\partial x} = 2x + y + 0$$

x^2 の微分 xy の微分 y^3 の微分(=0)

y を定数として x を微分

$$\frac{\partial f}{\partial y} = 0 + x + 3y^2$$

x を定数として y を微分

∂ はラウンドと読む

(復習) ヤコビ行列 (Jacobian matrix)

順運動学の計算により、手先位置 x, y と関節角度 θ_1, θ_2 について

$$\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} f_1(\theta_1, \theta_2) \\ f_2(\theta_1, \theta_2) \end{bmatrix} \quad \begin{array}{l} \text{例) } f_1(\theta_1, \theta_2) = L_1 \cos \theta_1 + L_2 \cos(\theta_1 + \theta_2) \\ f_2(\theta_1, \theta_2) = L_1 \sin \theta_1 + L_2 \sin(\theta_1 + \theta_2) \end{array}$$

の関係が得られているとする。両辺を微分すると

$$\begin{bmatrix} \frac{dx}{dt} \\ \frac{dy}{dt} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \frac{\partial f_1}{\partial \theta_1} \frac{d\theta_1}{dt} + \frac{\partial f_1}{\partial \theta_2} \frac{d\theta_2}{dt} \\ \frac{\partial f_2}{\partial \theta_1} \frac{d\theta_1}{dt} + \frac{\partial f_2}{\partial \theta_2} \frac{d\theta_2}{dt} \end{bmatrix} \quad \text{全微分といわれる}$$

行列として整理すると

$$\begin{bmatrix} \frac{dx}{dt} \\ \frac{dy}{dt} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \frac{\partial f_1}{\partial \theta_1} & \frac{\partial f_1}{\partial \theta_2} \\ \frac{\partial f_2}{\partial \theta_1} & \frac{\partial f_2}{\partial \theta_2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \frac{d\theta_1}{dt} \\ \frac{d\theta_2}{dt} \end{bmatrix}$$

この行列をヤコビ行列という

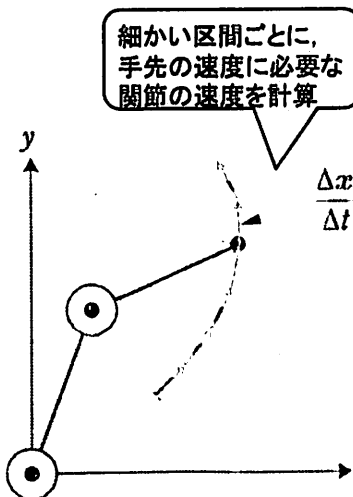
13

分解速度法による軌道制御

- こう動かしたいという手先位置の目標軌道 (各時刻での位置) が与えられている
- これを微分すれば、各時刻での軌道上の目標速度が分かる

$$\dot{q} = J^{-1} \dot{r}$$

- 上式で、目標速度に必要な各関節の速度を求め、関節を動かす
- ごく短い時間間隔 Δt ごとに繰り返し計算し、動かしていくことで目標軌道を達成する。



図出典: 木野・谷口, イラストで学ぶロボット工学

- 逆運動学計算を直接行わずに、手先の軌道制御を実現できる!

15

ヤコビ行列 (Jacobian matrix)

ここで、手先位置ベクトル $r = \begin{bmatrix} x & y \end{bmatrix}^T$ ヤコビ行列 $J = \begin{bmatrix} \frac{\partial f_1}{\partial \theta_1} & \frac{\partial f_1}{\partial \theta_2} \\ \frac{\partial f_2}{\partial \theta_1} & \frac{\partial f_2}{\partial \theta_2} \end{bmatrix}$
 関節角度ベクトル $q = \begin{bmatrix} \theta_1 & \theta_2 \end{bmatrix}^T$

$$\text{とおくと, } \begin{bmatrix} \frac{dx}{dt} \\ \frac{dy}{dt} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \frac{\partial f_1}{\partial \theta_1} & \frac{\partial f_1}{\partial \theta_2} \\ \frac{\partial f_2}{\partial \theta_1} & \frac{\partial f_2}{\partial \theta_2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \frac{d\theta_1}{dt} \\ \frac{d\theta_2}{dt} \end{bmatrix}$$

は

$$\dot{r} = J \dot{q}$$

各関節の速度 (\dot{q}) に対し、手先の速度 (\dot{r}) がどう変化するかを表している

さらに、 J に逆行列があれば、

$$\dot{q} = J^{-1} \dot{r}$$

手先の速度 (\dot{r}) に対し、各関節の速度 (\dot{q}) がどう変わるかを表している

となる

14

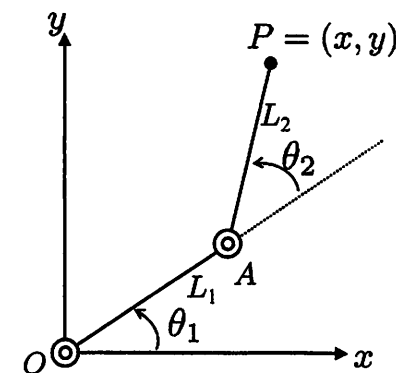
計算例

- 順運動学計算により

$$\begin{cases} x = L_1 \cos \theta_1 + L_2 \cos(\theta_1 + \theta_2) \\ y = L_1 \sin \theta_1 + L_2 \sin(\theta_1 + \theta_2) \end{cases}$$

- ヤコビ行列 J は

$$J = \begin{bmatrix} \frac{\partial x}{\partial \theta_1} & \frac{\partial x}{\partial \theta_2} \\ \frac{\partial y}{\partial \theta_1} & \frac{\partial y}{\partial \theta_2} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -L_1 \sin \theta_1 - L_2 \sin(\theta_1 + \theta_2) & -L_2 \sin(\theta_1 + \theta_2) \\ L_1 \cos \theta_1 + L_2 \cos(\theta_1 + \theta_2) & L_2 \cos(\theta_1 + \theta_2) \end{bmatrix}$$



16